

市長の ふれあい訪問



「川口市華道連盟」

昭和43年1月に華道の振興、教養の向上などを目的に創立。現在、15の流派、182人の会員で構成され、川口市の文化振興・推進に寄与するため、さまざまな活動をしている。川口市華道連盟を岡村市長が訪問。その活動内容などをお聞きしました。

市長 みなさんこんにちは。いよいよ9月に入りましたが、暑い日が続いております。まだまだ残暑が厳しいと思いますが、健康に気を付けて暑い日々を乗り切ってください。

今月の市長のふれあい訪問は、「川口市華道連盟」のみなさんです。どうぞよろしくお願いたします。はじめに会長の横田さんにお聞きしますが、どれくらいの流派のみなさんがお集まりになっているのですか。

横田 現在、15の流派で、182人の会員で活動しています。

市長 華道連盟はいつ発足したのですか。

丸山 昭和43年に12流派の会員が集まって発足しました。私もその当時から参加しています。

市長 昭和43年に発足したということは、今年で40周年になるのですね。日頃は各流派ごとに活動し、そのみなさんが集まり、連盟としていろいろと活動をされているわけですが、具体的にどのような活動をされているのですか。

伊藤 川口市の「花の文化展」、「文化祭」、「春の安行植木まつり」などのいけばな展に展示したり、「成人式」や「社会福祉大会」の祝花の飾り付けなどを行っています。

市長 いけばな展などに出展して、それを観た方々の反応はどうですか。

田尻 みなさんに喜んでもらい、私もみなさんから元気をいただいています。花を生けることによって多くの方と交流もでき、普段の疲れも吹っ飛ばしてしまいます。

市長 華道の魅力はどのようなところにある

のでしょうか。

小用 華道は日本の伝統的な文化の一つだということに魅力を感じています。その文化を大切にしていきたいと思っています。

荒井 花が大好きですし、これからも川口のみなさんに喜ばれるように、活動を続けていきたいと思っています。

市長 各流派にそれぞれお弟子さんがいて、教えておられるのだと思いますが、お弟子さんに若い方はいますか。

横田 少ないです。もっと若い方に入会していただき、華道の魅力を知ってもらえればと思っています。

市長 華道は日本を代表する、素晴らしい芸術の一つだと思っていますが、各流派の違いはどのようなところにあるのですか。

横田 家元がいて、流派ごとに基本形があります。草月流ですと飾り花を生けることが多い、古流系は、お生花と言っていますが、形あるものに築いていくという特徴があると思います。



市長 今後、活動していくうえで希望などはありますか。

伊藤 若い方に入会してもらいたいことと、この会をますます発展させるためには、指導者を育てないといけないと思っています。

市長 花を生けるといふことは、自然を愛する気持ちにもつながっていくと思います。川口には安行という植木の産地がありますから、植木や花の生産を維持していくためにも、みなさんの活動が活発に展開されればいいなと思っています。

最後に、これからの抱負などをお聞かせください。

横田 今後も会員のみなさんと力を合わせて華道の普及と促進を図り、また、会員同士の交流も更に深めていきたいと思っています。

市長 みなさんの活動は、日本の芸術文化の継承にもつながりますので、男女問わず、若い方などにも幅広く華道を広めていただくため、これからも頑張ってください。今日はありがとうございました。

